

# かわせみ



市立枚方市民病院ニュース

2008

秋号

VOL.25

## シリーズ 健康

# 膝の痛み



整形外科副部長

堀之内 崇

連日の外来診療の中で、整形外科を訪れる患者さまの訴えの3本柱は腰痛・肩こり・膝痛です。今回は、私の専門分野である「膝の痛み」についてわかりやすく解説させていただきます。

膝関節は体重を支える荷重関節であり、スポーツや仕事などによる繰り返しの負荷を受け止めることから負担がかかりやすい関節です。また、本邦では正座や和式トイレなど膝を動かすことが必要な生活習慣も関わって負担がかかりやすくなっています。

急性の痛みは主として「外傷、すなわちケガ」によるものです。打ち身や捻挫・骨折や脱臼、靭帯損傷・半月板損傷・軟骨損傷等があります。また外傷以外では痛風や偽痛風（ぎつうふう）・細菌感染などによる急性関節炎があります。

慢性の痛みで代表的なものは変形性膝関節症や関節リウマチでしょう。膝の痛みの原因として最も多いのは、この変形性膝関節症です。原因の多くは加齢により、関節軟骨が磨り減って、骨がぶつかって炎症を起こし痛みを生じます。

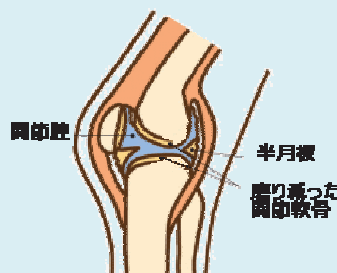
さらに、関節内に水が溜まったり、膝の変形が

進んだりすることもあります。以前の外傷の後遺症や激しいスポーツの経験者などにも出現することがあります。また、稀ですが骨の血流が乏しくなり、骨組織が死んでしまうような骨壊死（こつえし）や膝周辺にできる腫瘍による痛みもあります。

私たち整形外科チームは患者さまからの問診をもとに身体所見やレントゲン・CT・MRIなどの画像所見及び血液データなどから、痛みのメカニズムを究明し、患者さまの希望も取り入れながらその方の病態に応じた治療方針を考えていきます。基本的には保存治療（薬や注射など投薬・リハビリや理学療法・装具療法など）を優先します。

この保存治療をする際には、近隣開業医の諸先生方の力強いご協力で多いに助けていただいております。保存療法が効果のない患者さ

ま、もしくは効果が期待できない患者さまには骨折の手術や関節鏡（靭帯再建術含む）・人工膝関節置換術・矯正骨切り術などの外科治療も行います。



膝関節（側面）

\*偽痛風（ぎつうふう）とは、一過性、または反復性に痛風のような激しい関節炎を生じますが、尿酸結晶以外の結晶により惹起される関節炎をいいます。ピロリン酸カルシウム結晶沈着症(CPPD結晶沈着症)や軟骨石灰化症とも呼ばれています。

このように当院整形外科は地域医療機関のご協力を得ながら、患者さまとともに痛みが取れるように努力しております。よく「高齢だから、仕方がないかなあ」と思われる方がいらっしゃるようですが、一度、整形外科を受診してみてもいいでしょうか。

いたたっ！  
一度、整形外科を受診してみようかしら



## 平成20年度 病診連携懇談会を開催しました



特別講演での大阪医科大学附属病院長 花房俊昭教授（第1内科）

9月6日（土）平成20年度の「市立枚方市民病院・病診連携懇談会」が枚方市立保健センター4階の健康講座室で開催されました。

市民病院では連携懇談会を枚方市医師会、枚方市歯科医師会との共催で毎年9月に開催しています。

今年の病診連携懇談会には27名の地域医療機関の先生方と市民病院職員30名が参加し、冒頭、枚方市医師会会長の青井一雄先生（青井内科）は「地域ネットワークにおける医療連携は大切な役目であり、今後も市民病院に期待します」とあいさつされました。

講演では市民病院内科・有島武志医長が「内分泌疾患の漢方治療～糖尿病・メタボリックシンドロームを中心に～」を行い、続いて大阪医科大学附属病院病院長・花房俊昭教授から「糖

森田病院長は「地域の医療連携を密にすることは患者サービスを充実させることにつながっていきま



尿病診療のコツ」と題した特別講演がありました。

参加者は熱心に傾聴され、講演後は多くの先生方から質問が相次ぎ、興味の深さが示されました。閉会のあいさつで枚方市歯科医師会会長の村上卓先生（村上歯科）は「患者本位の医療をめざした地域連携を共に行っていきましょう」と述べられました。







# こんにちは

## 地域医療連携医院訪問Vol. 1

青井内科 青井 一雄 先生

青井先生が医師を目指され、開業された経緯をお聞かせ下さい。

母親が薬剤師、叔父が医師という環境の中で医師を目指しました。

関西医科大学を昭和50年に卒業して研修に入りましたが、当時は現在のような研修制度はなく、二つの内科を半年ずつローテーションしました。翌春からは基礎研究に惹かれ関西医科大学第一生理学教室の大学院に入り、4年間生化学や細胞生物学を学びました。

55年春に大学の消化器内科（第三内科学教室）に入局しましたが、途中の一年間は公立忠岡病院に出向しました。その忠岡病院も昨年3月に廃院となってしまいましたけどね。専門は消化器で、なかでも肝臓を専門としています。しかし当時大学では今のようにはっきりと専門領域が分かれていなかったの、糖尿病外来での診察もやっていました。

生まれは大阪市内の城東区ですが、高校入学時に枚方市に引っ越してきました。大学の教養部には歩いて通いました。昭和62年の秋に、住居があるこの土地に「青井内科」を開業しましたが、当時班内では一番若かったという思い出があります。

枚方市の医師会長の任に就かれています。御苦労などはありますか？

前会長の岩井先生はカリスマ性があり機関車のように牽引されていましたが、私はそういうタイプではありませんので、皆の協力を得てトロイカ体制で行こうと思っています。青井先生の趣味をお聞かせ下さい。

そうですね、忙しくなってゴルフのクラブも久しく握ってないですし、まあ強いて言えばパソコンですかね。

市民病院への要望があればお聞かせ下さい。

各自治体病院での小児救急体制の維持が医師の確保で難しくなっているようですが、枚方市民病院には今後も枚方市だけでなく北河内の拠点として機能してもらえよう、医師会としても何かお手伝いできることがあればと考えています。

青井先生には大変お忙しいなか、早くインタビューにお応え頂きました。整理整頓された診察室での先生のお話や表情からも温厚なお人柄が伺え、私も心が和みました。青井先生ありがとうございました。（地域医療連携室 井上）



### 青井内科

〒573-1162  
枚方市田口 2-27-31  
TEL. 072-840-4505

【診療内容】 内科  
【診療時間】 午前 8時30分～12時  
午後 5時～7時30分

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○		○	○
午後	○	○	○	○	○	

# 新任医師紹介します



内科医長（内分泌・一般）  
有島 武志  
（ありしま たけし）  
出身 大阪府  
趣味 旅行、空手道

7月から診察に就かせて頂いています。地域医療に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

さまざまな観点から患者さまを診ることのできる内科に興味を惹かれました。また、人のからだやこころの歪みを修正する漢方医学にも関心をもったからです。



耳鼻咽喉科副部長  
峰晴 昭仁  
（みねはる あきひと）  
出身 大阪府  
趣味 ドライブ、ゴルフ

10月より赴任しました。伊藤前部長より引き継ぎ、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に関わることができ、また、内科的及び外科的な治療のどちらにも関わることができるので選びました。



皮膚科  
米田 雅子  
（こめだ まさこ）  
出身 大阪府  
趣味 旅行

9月より赴任してまいりました。患者さま一人ひとりを大切に診ていけるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

アトピー性皮膚炎に興味があったので選択しました。でも、今は気持がだんだんと変わっていますが...



小児科  
松村 英樹  
（まつむら ひでき）  
出身 大阪府  
趣味 登山、写真

9月から赴任いたしました。小児科一般、特に小児腎臓病を専門にしています。患者さま、保護者の方としっかりとコミュニケーションをとり、一緒に病気を治していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

未来ある子どもたちの明るく健やかな成長・発達の手助けをし、育ていく子どもたちを見る喜びを分かち合いたいと思ったからです。

## お知らせ

### クレジットカードでお支払ができます

診療費(一部を除く)のお支払にご利用いただけます。詳細は、会計窓口にお問い合わせください。



ご利用になれるカード

## 医師の退職

耳鼻咽喉科	伊藤 尚
耳鼻咽喉科	俣吉 民江
小児科	森本 高広

## 編集後記

秋も深まり、美しい紅葉も目に入る季節になりました。もっぱら私の周りでは、私を含め食欲の秋を愉しむ仲間が多いようです。しかし、口に入るものは美味しいものばかりではありません。ノロウイルスに代表される怖い病原体に悩まされる季節も到来しています。食事前の手洗いをまめに行い、吐物や排泄物の取り扱いには特に注意が必要です。体調に気をつけ、実りの秋を満喫しましょう。

広報委員長 宇田るみ子（麻酔科）